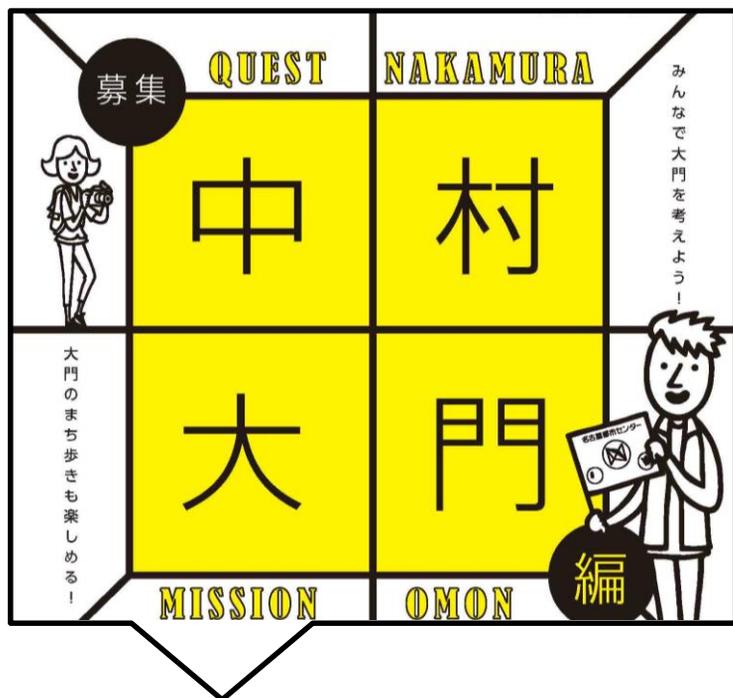


# 令和元年度 地域のまちづくりびと講座



## 第5回目

日時: 令和元年10月16日(水)

時間: 18:30~20:45

場所: 都市センター13階  
ワークスペース

講師: 稲葉 久之さん  
(フリーランスファシリテーター)

ゲスト: 大門まちづくり友の会

まちづくりびと講座の最終回は、「まちづくり活動の企画書を書いてみよう」また「全5回の講座全体のふりかえり、活動計画の点検、実施への計画づくりについて考えます。」という二つのテーマで最後の講座を締めくくりました。

### 大門で作成した計画書を元に、企画書の見直し実施に向けての点検と修正

講座の冒頭では、「活動計画の点検と実施に向けた計画づくりについて」をテーマに稲葉さんから講義があり、前回のまち歩き後に考えた企画を、最終回ではより深く考え洗練することを行いました。

講義後に、グループ毎にその企画は、「何のために?」、「誰のために?」のポイントを再度確認し、実施に向けた「目的・目標・成果」を設定することで、資源の確認や役割、スケジュールなど具体的に作り上げどのように進めていけばよいのかを考えました。

企画書で押さえるポイントは優先順から決めれば良いとの事でしたが、第3回の池田さんから教わった7つのポイントの全てを確認し見直すことで、実施に向けた点検も出来ました。

今まで連続講座で顔を合わせてきたことで、参加者同士の繋がりも強くなり本音で前向きな話し合いが行われ企画書の点検と修正して見直した点をグループ毎に発表しました。





## 講座全体のふりかえり

グループごとの発表タイムの後は1人を残して、グループを入れ替わり意見交換をしました。異なるグループに入ることでの意見交換では、他のグループとコラボした企画や、外のグループから見た評価等を発表して全体で共有しました。

講義の最後は、全5回を通して、まちの現状を把握すること、企画の立て方を学び、素案（イメージ）を共有すること、まちを歩いて企画をつくる、作った企画を見直し実現の可能性を立構えるという一連の流れを振り返りました。

限られた時間の中で行ってきた講座の中で、最終回はさらに内容が濃くて充実していました。受講生の皆さんも今回の講座の目的を十分に理解してくれたようです。



## 『これからやってみたいこと(やること)』を聞かせてください

最後に「これからやってみたいこと（やること）」を各自でA4用紙に書いてもらい、一言で発表してもらいました。「今後の名駅開発に伴って、大門まちづくりに関わっていきたい」「大門で新しいアートを表現していきたい」、「企画書を実現したい」など、前向きな「やる！」ことへの意欲が感じられました。

大門まちづくり友の会の加納さんからは、「大門はキャッチーと言われたのが新鮮だった。皆さんのアイデアを形にしていきたい」とのお声もいただきました。

稲葉さんからは、「大門出身や在住の方も多く、参加された方も大門に興味がある方が集まったので、団結しまとまりが出来て良い講座になりました。」とまとめの一言をいただきました。大門まちづくり友の会と、大門ファンになった受講生の繋がりができた講座となりました。

